

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

真狩村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道虻田郡真狩村

3 地域再生計画の区域

北海道虻田郡真狩村の全域

4 地域再生計画の目標

真狩村の人口は、1955年の5,567人をピークに減少が急激に進み、1975年には3,197人となり、その後も減少傾向が長期的に続いており、2015年には2,103人となるなど、この60年間で、半数以下になりました。近年は、減少のスピードも鈍化し、人口増減がプラスになる年も見られますが、減少傾向は継続しています。

本村の自然増減については、出生数の減少、死亡数の増加によって、「自然減」の傾向が長く続いています。

一方、社会増減については、転出超過による「社会減」の年が多くを占めますが、2016年からは転入超過が続いており、「社会減」の数が減少傾向にあります。2016年から2018年までの3年間の合計数でみると、20～24歳で転出超過がめだつ一方、30～34歳や35～39歳では転入超過がめだちます。

その結果、2015年の実績（2,103人）は、人口ビジョン設定値（2,076人）を上回りました。比較的若い世代の転入が増えるなど、人口減少の抑制につながる傾向も見られますが、2015年国勢調査からの推計によると、今後も人口が減少する傾向には変わりがなく、人口ビジョンでめざす数値との隔たりは広がっていくことが推計されています。

生産年齢人口の減少は、基幹産業である農業をはじめとした地域産業の担い手不足、税収の減少などをもたらし、本村の経済や財政運営に大きな影響を与えていま

す。また、子育て世代の減少は出生数の減少につながり、再び人口減少のスピードを早めることとなります。

そのため、近年増加傾向にある若い世代の転入（流出抑制）をさらに進めることにより、出産・子育て世代の人口増加と、出生数の増加につなげていくことが効果的であると考えられます。

そこで、以下の事項を本計画の基本目標に掲げ、人口減少、少子化・高齢化が進む現在の状況をできるだけ改善し、人口減少を抑制していきます。

- ・基本目標 1 さまざまな分野で「働く場」を創出する
- ・基本目標 2 真狩の魅力を高め、交流・関係人口や移住者を増加させる
- ・基本目標 3 真狩で子育てする人を応援し、増加させる
- ・基本目標 4 不安や不便さによる人口流出を抑制する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2028年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	農林業を除く従業者数 (経済センサス)	※1 597人	600人	基本目標 1
	農家戸数	※2 98戸	90戸	
イ	観光客入込数	705,459人	888,000人	基本目標 2
	移住者数	5年間で27人	5年間で30人	
ウ	出生数	5年間で76人	5年間で75人	基本目標 3
	保育待機児童数	〇〇人	0人	
エ	転出入者数の差	5年間で▲47人	5年間で0人	基本目標 4

※1 データは令和3年度経済センサスの数値を使用

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

真狩村まち・ひと・しごと創生事業

ア さまざまな分野で「働く場」を創出する事業

イ 真狩の魅力を高め、交流・関係人口や移住者を増加させる事業

ウ 真狩で子育てする人を応援し、増加させる事業

エ 不安や不便さによる人口流出を抑制する事業

② 事業の内容

ア さまざまな分野で「働く場」を創出する事業

定住、移住を推進するには、村内に働く場があることが重要です。基幹産業である農業をはじめ、その他の産業についても活性化させ、いろいろな分野で働ける場を増やします。

【具体的な取り組み内容】

- ・ 農業における働く場の拡大
 - ・ 農業以外の産業における働く場の拡大、起業の支援
 - ・ 農業を軸とした産業振興
- 等

イ 真狩の魅力を高め、交流・関係人口や移住者を増加させる事業

本村には羊蹄山をはじめ、そこからもたらされる美しい風景や水、農産物やさまざまな「食」に魅力を感じ、多くの人が集まります。これらの人が関係人口、交流人口となるよう努め、域内経済の活性化や移住者の増加に結びつけます。

【具体的な取り組み内容】

- ・ 地域資源を活用した観光の振興
 - ・ 移住・定住を促す住宅環境の整備
- 等

ウ 真狩で子育てする人を応援し、増加させる事業

子育てや教育の場として魅力を感じてもらえる村となるために、子育てや教育等に関する環境づくりやサービスの充実に引き続き務め、子育て世代やその子どもたちを増やします。

【具体的な取り組み内容】

- ・子育て世代の負担の軽減
- ・子育てや教育に関する環境の充実

等

エ 不安や不便さによる人口流出を抑制する事業

本村に住み続けたいと思いつながら、日常生活の不安や不便さを理由に転出する人もいます。日常生活で感じる不安の解消や利便性の向上に努め、真狩村に住み続けたい人が住み続けられるようにし、人口流出を抑制します。

【具体的な取り組み内容】

- ・日常生活の不便さを解消する環境の充実

等

※ なお、詳細は、第2期真狩村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2023年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

・毎年6月を目途に外部有識者で構成する「真狩村地方創生推進会議」において、効果検証を行い、翌年度以降の取組内容について協議していく。

・第三者がアクセスできる媒体で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで